

## 名古屋西高校 部活動のあり方について

名古屋西高校における、部活動のありかたについては、スポーツ庁、文化庁、そして愛知県教育委員会から提示される各種ガイドラインに基づき、以下のように掲げる。

### 1 本校の部活動で育成する力

近年、多様な人々の創造力の融合によって、課題解決を図り、価値を創造する力が求められている。このような時代を生きる生徒に、基本的な学力に加え、課題に対して主体的に対応していく力を育成する。本校において部活動は、このような力を育成する格好の場として位置づける。

### 2 活動における留意点

部活動は学校生活を充実させ、結果的に学習姿勢や生活姿勢に好影響を与えるべきものであるという点を基本としつつ、以下の点に留意しながら活動を行うものとする。

- ① 部活動は学校教育全体を通じて展開されるべきものである。
- ② 各部活動は年間・月間計画を作成し、計画性ある活動をおこなう。
- ③ 各部活動の特性に応じて、試合期・充実期・休養期などを設定する。
- ④ 各部活動の特性に応じて、活動時間と休養日を設定する。

	活動時間	休養日
平日 50分7限	原則、1時間30分程度	活動時間と年間の実活動日数を考慮し、平日の休養日を必ず設けることはしないが、可能な限り設けるものとする。
平日 50分6限	原則、2時間程度 ※1	
週休日および 祝日	原則、3時間程度 ※2	原則、1日以上とする。両日活動する場合は代替休養日の確保に努める。
長期休暇	3時間程度	平日、週休日に準ずる。
考査期間	原則、活動はしない。コンクールや公式戦等が控えている場合は、1時間程度の活動を認める。	
朝の活動	補助的な活動とする。生徒の登校時間等に配慮する。	

※1 施設使用の実情に合わせて、活動時間の調整を行うことがある。

※2 対外的な活動においては、活動時間の調整を行うことがある。

- ⑤ 定期的に計画・活動を評価し、改善に努める。
- ⑥ 部顧問会や部活動連絡会等を利用し、積極的に情報交換を行う。